

## 企業就職志望の大学院生への教育支援

(平成 21 年 7 月 10 日)

大学院生を対象とした当財団の事業には、優秀な科学研究後継者の育成を目的として奨学金を支給する研究奨励事業と、学校法人教育等を支援する人材育成事業があります。昨今は産業界から優秀な研究者・技術者の育成が強く求められており、博士前期課程（修士課程）修了後に社会に出ようとする大学院生教育への支援を行っています。

その一つとして、昨年度に引続き奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科（文部科学省の推進する大学院における教育プログラムに積極的に取り組んでいる）から「企業体験プログラム」の協力要請があり、博士前期課程学生 4 名を受入れました。「大学院生が学んだ基礎知識と、これから学ぶ専門知識や研究実験を、実社会で最大限に活用し実践できるよう、有機的に連携させる能力を養う」の目的に合わせ、企業活動の面からサントリーホールディングス株式会社 R&D 企画部等の協力を得て、研修を行いました。

お客様へ提供する製品を創る研究・開発のキーポイントは、①感性（お客様の求める方向の察知とアイデアの創造）、②執念（仕上げる粘り強さ）、③技術（発想を可能にする研究開発力）であるとの R&D 企画部からの話から始まり、当財団からは、機器分析などの各要素技術を軸とした基礎研究とその将来への展開の可能性について、また R&D 部門から発展的に独立したサントリーミドリエ株式会社からは、新しい環境緑化事業の礎となった人工培土の開発から多彩な商品

開発に至るまでについてというように、研究と開発に最も重要なポイントをそれぞれ異なった観点から説明しました。また、現在同じ研究センター内で研究に従事している同大学院の先輩方から生の声を聞き、歓談する機会も設けました。



先輩との歓談



山崎蒸溜所での研修風景

その後、美味しくかつ安心していただける製品をお届けする生産の場の一つ、山崎蒸溜所で工程を見学し、ピュアモルトウイスキー「山崎」、「白州」などを試飲し、工場長から「研究が判り、仕事をやり遂げる執念のある人材」が開発、生産においても強く求められているとのメッセージでプログラムを終了しました。これから実社会に出る準備中の修士課程 1 年生諸君の良き指標となればと願うところです。